

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	高知県教育委員会 担当課：保健体育課 電話番号：088-821-4900
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	105校	② 生徒数	13,239人	③ 部活動数	962部活
--------	------	-------	---------	--------	-------

拠点校：土佐清水市立清水中学校

実施部：硬式テニス（女子5名）、バドミントン（男子2名女子5名）

1.2 地域における現状・課題

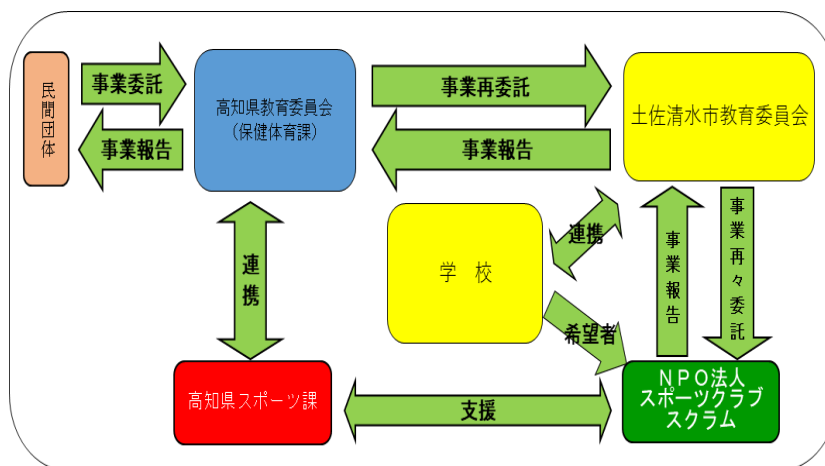
少子高齢化によって生徒数が年々減少の傾向にある土佐清水市において、中学校部活動の維持・存続・継続は困難な状況になりつつある。地域において運動・スポーツの機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツに親しめる環境作りや総合型地域スポーツクラブを中心に持続可能な取組を新たに構築していく必要がある。

部活動の指導は教員に拠っている。その中には当該競技の指導力を十分有しないまま指導に当たらなくてはいけない場合もある。また、異動による指導教員の交代によっては、指導内容に変更が生じる可能性があり、生徒に戸惑いを感じさせたり、生徒の技能のレベルアップを停滞させることにもなりかねない。

教員が部活動を指導することによって拘束時間を引き延ばされることにもつながり「働き方改革」を踏まえて教員の負担軽減を図り、地域で専門的に指導ができる人材を活用し生徒の活動の場を確保していく。

1.3 実践研究における取組目標

教員の運動部活動指導時間の軽減
持続可能な地域運動部活動の運営
費用負担の在り方の検討



【運営体制図】

2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・検討・運営会議が3回開催され、土佐清水市教育委員会・NPO法人スポーツクラブスクラム・指導者・保護者・地域のスポーツ団体など様々な立場から地域で子どもを育てるために必要なことについて意見が出された。土佐清水市においては今後も児童・生徒数の減少が見込まれ、現状のように学校が運動部活動を担うことが困難であり、小中高の一貫した指導の継続や近隣市町村との連携を視野に入れた話も出された。
- ・今後、国の動向にも注視しながら、情報を地域や保護者等に共有できるよう取り組んでいく必要がある。

3. 実践研究の成果と今後の課題

3.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ アンケートの結果から教員の負担軽減について、負担が減った割合が 100%となっており、地域クラブへの移行により軽減されている。また、費用負担についても保護者から 2,000 円以下という回答が最も多く、土佐清水市においてはこのあたりが費用負担について理解が得られるラインとなる。
- ・ 事故があった場合の補償について、NPO 法人スポーツクラブスクラム会員加入保険とスポーツ安全保険をプラスすることで、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度と同程度の補償としている。

3.2 地域移行における今後の課題と対応

【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】 <ul style="list-style-type: none">・ 関係団体、町村との連絡調整・ コーディネーターの配置	【地域特有の課題への対応策】 <ul style="list-style-type: none">・ 学校施設等の効果的な活用や管理方法・ 部活動指導員の配置支援・ 合同部活動（拠点校方式等）の検討
【指導者の確保方策】 <ul style="list-style-type: none">・ 人材の発掘、マッチング、配置（人材バンクの整備）・ 研修、資格取得促進・ 平日、休日の一貫した指導	【地域移行の自走化に向けた方策】 〈高知県〉 <ul style="list-style-type: none">・ 部活動の地域連携・地域移行検討会議（仮称）の開催（推進計画の策定等） 〈市町村〉 <ul style="list-style-type: none">・ 部活動改革の協議会等を設置・開催し、部活動の地域連携・地域移行を推進 〈具体的な取組〉 <ul style="list-style-type: none">・ 国の実証事業を活用し、地域移行の課題等を精査・ 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等の各団体との連携等
【受け皿団体の確保方策】 <ul style="list-style-type: none">・ 運営団体、実施主体の体制整備や質の確保・ 市町村を超えた取組	
【困窮世帯への支援方策】 <ul style="list-style-type: none">・ 費用負担の在り方検討・ 施設使用料や参加費等の減免措置	

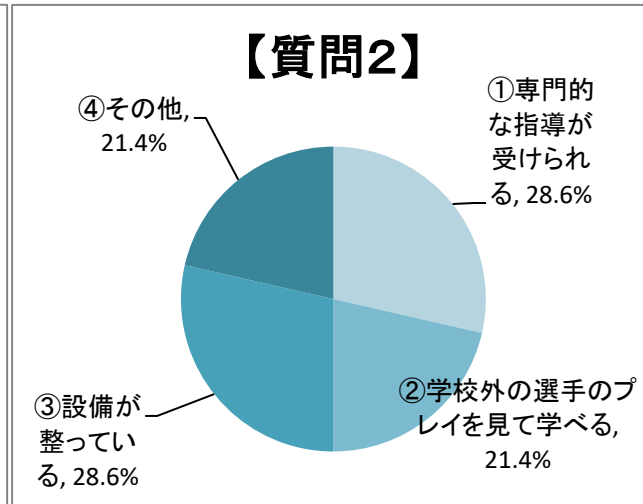
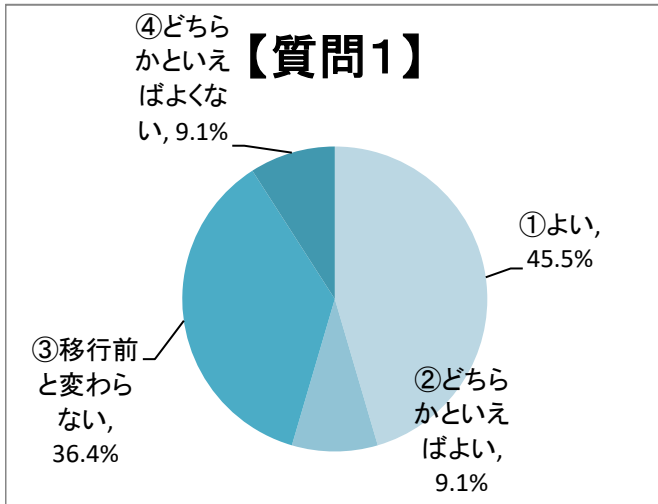
第1回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【生徒用1/2】

【質問1】部活動が地域移行して、総合的にどう感じていますか。

①よい	②どちらかといえばよい	③移行前と変わらない	④どちらかといえばよくない	⑤よくない	計
5	1	4	1	0	11
45.5%	9.1%	36.4%	9.1%	0.0%	100.0%

【質問2】部活動が地域移行して、よかったと思うところはなんですか(複数回答可)

①専門的な指導が受けられる	②学校外の選手のプレイを見て学べる	③設備が整っている	④その他	計
4	3	4	3	14
28.6%	21.4%	28.6%	21.4%	100.0%

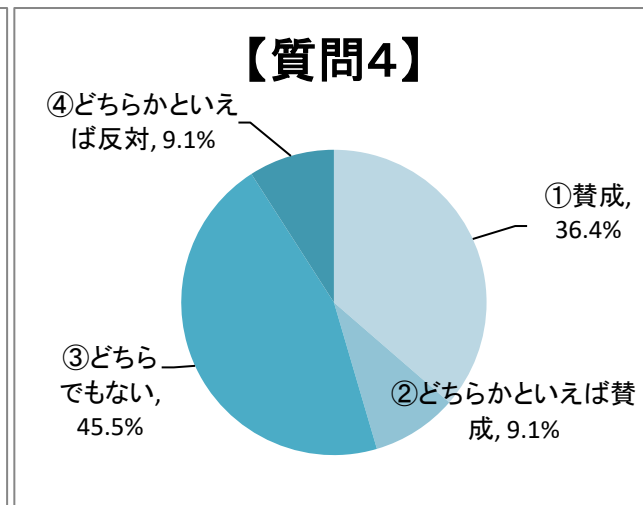
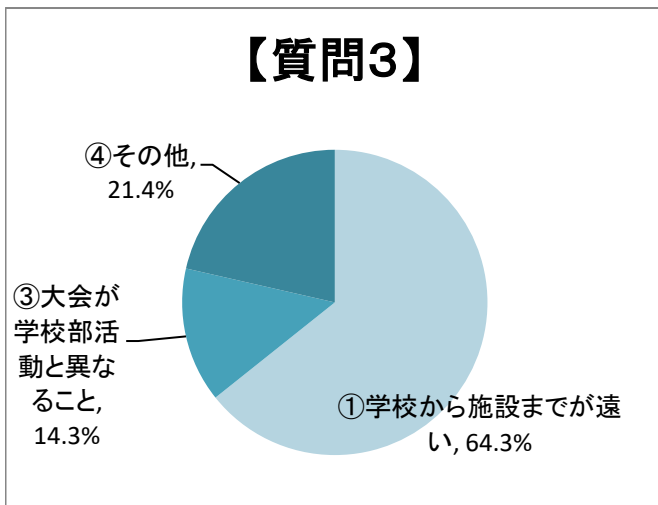


【質問3】部活動が地域移行して、よくないと思うところはなんですか(複数回答可)

①学校から施設までが遠い	②指導についていけなくなった	③大会が学校部活動と異なること	④その他	計
9	0	2	3	14
64.3%	0.0%	14.3%	21.4%	

【質問4】学校部活動を地域のクラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)が担うことについてどう思いますか

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
4	1	5	1	0	11
36.4%	9.1%	45.5%	9.1%	0.0%	100%



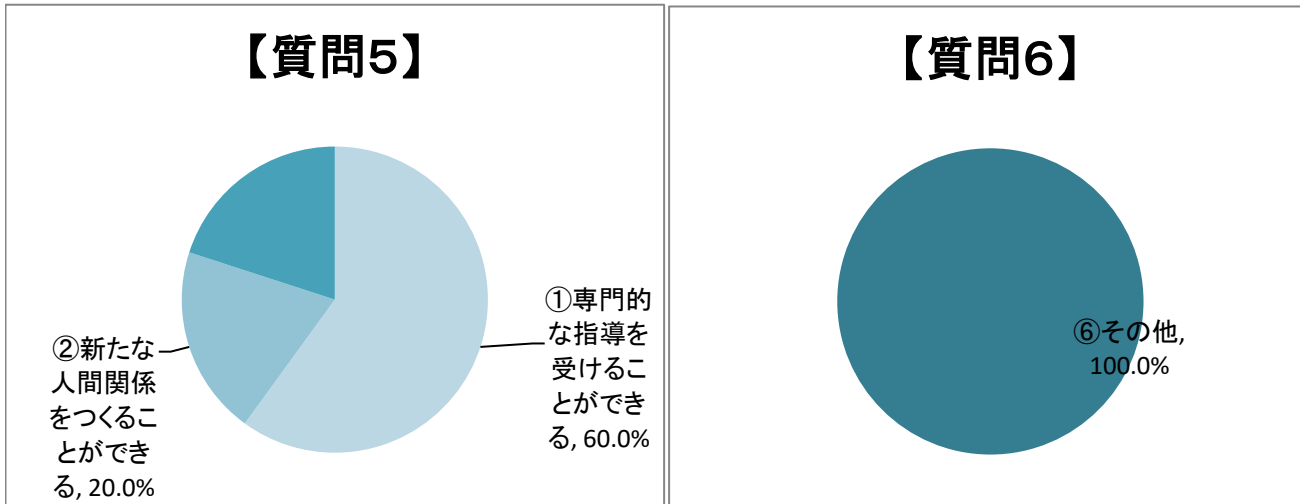
第1回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【生徒用2/2】

【質問5】質問4で①、②を選択した理由はなんですか。

①専門的な指導を受けることができる	②新たな人間関係をつくることができる	③継続した指導を受けることができる	④その他	計
3	1	1	0	5
60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100%

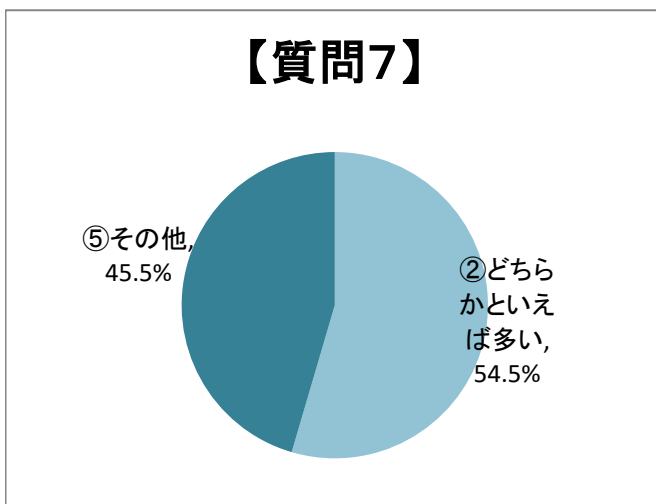
【質問6】質問4で④、⑤を選択した理由はなんですか。

①活動場所まで移動すること	②クラブの活動費用の負担	③クラブの活動運営への協力	④大会が学校部活動と異なる	⑤学校外の人間関係が発生すること	⑥その他	計
0	0	0	0	0	1	1
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0%



【質問7】部活動が地域移行して、活動の頻度(練習の回数)はどうですか。
(平日4日、休日1日の活動で平日2時間・休日3時間の練習時間を基本とします。)

①多い	②どちらかといえば多い	③少ない	④どちらかといえば少ない	⑤その他	計
0	6	0	0	5	11
0.0%	54.5%	0.0%	0.0%	45.5%	100.0%



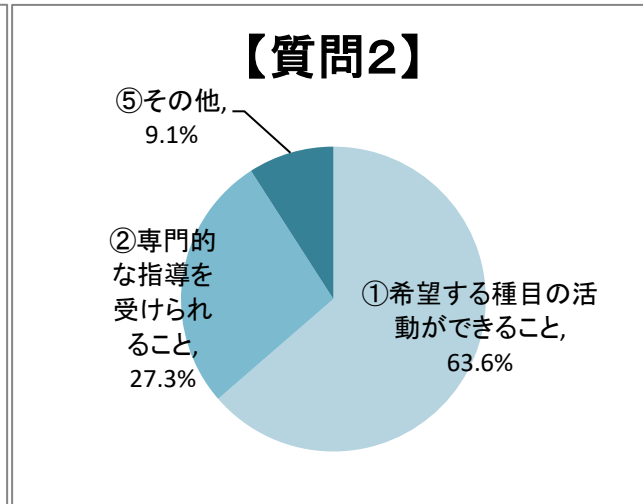
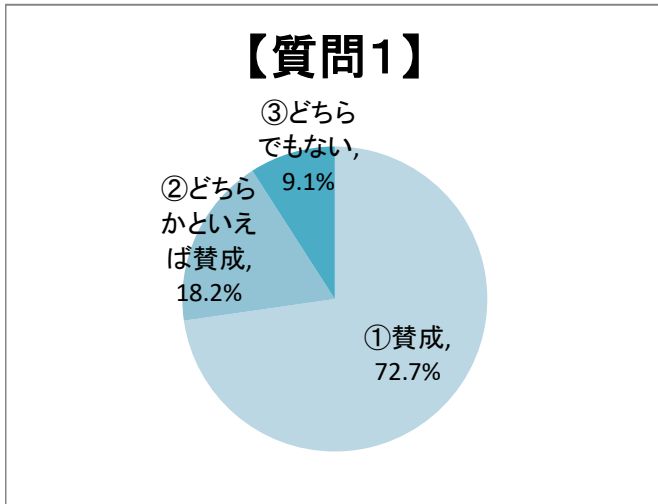
第1回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【保護者用1/2】

【質問1】お子様が地域のクラブに所属することを希望した場合、どう思いますか

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
8	2	1	0	0	11
72.7%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%

【質問2】質問1で①、②を選択した理由はなんですか

①希望する種目の活動ができること	②専門的な指導を受けられること	③学校外の人間関係が築けること	④自然に合ったクラブを選択できること	⑤その他	計
7	3	0	0	1	11
63.6%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	100.0%

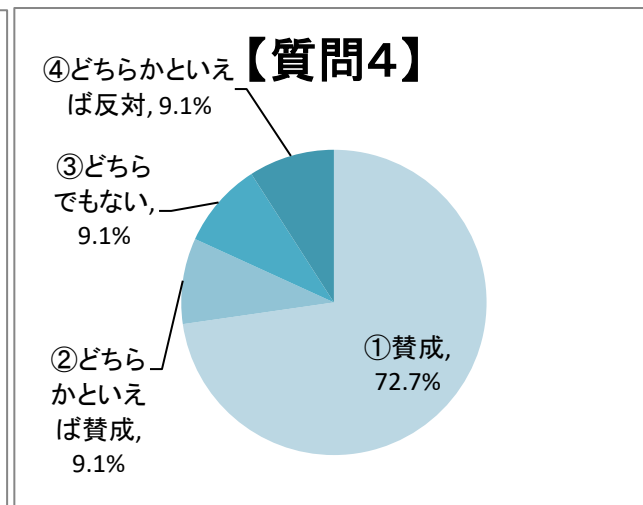
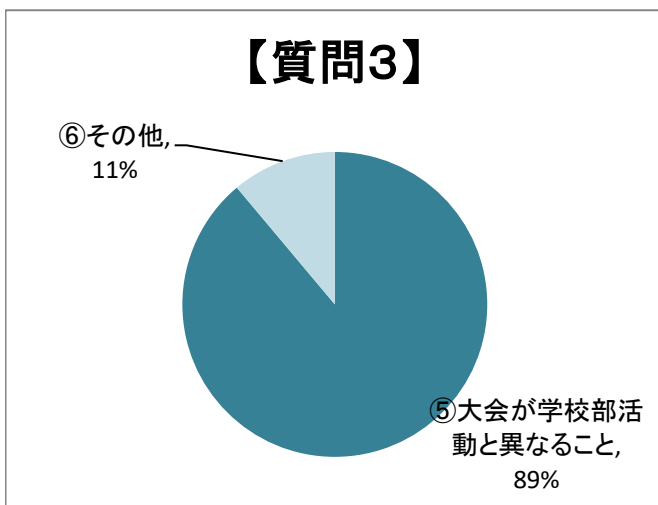


【質問3】質問1で④、⑤を選択した理由はなんですか

①活動場所まで自分で移動すること	②保護者の送迎が必要であること	③クラブの活動費用の負担	④クラブの活動運営への協力	⑤大会が学校部活動と異なること	⑥その他	計
0	0	0	0	8	1	9
0%	0%	0%	0%	89%	11%	100%

【質問4】学校部活動を地域のクラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)が担うことについてどう思いますか

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
8	1	1	1	0	11
72.7%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	100%



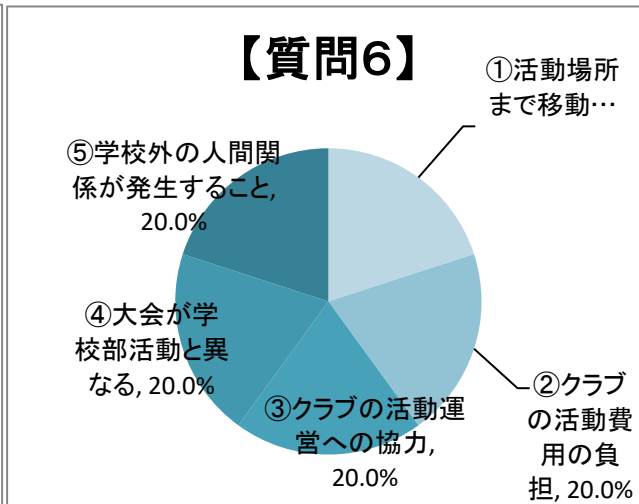
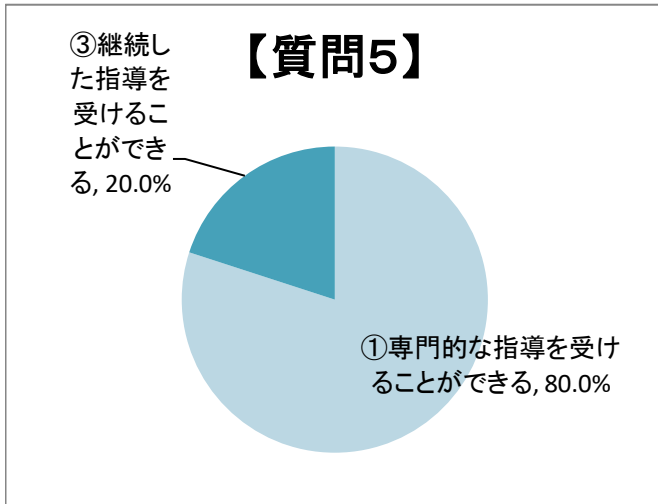
第1回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【保護者用2/2】

【質問5】質問4で①、②を選択した理由はなんですか。

①専門的な指導を受けることができる	②新たな人間関係をつくることができる	③継続した指導を受けることができる	④その他	計
8	0	2	0	10
80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100%

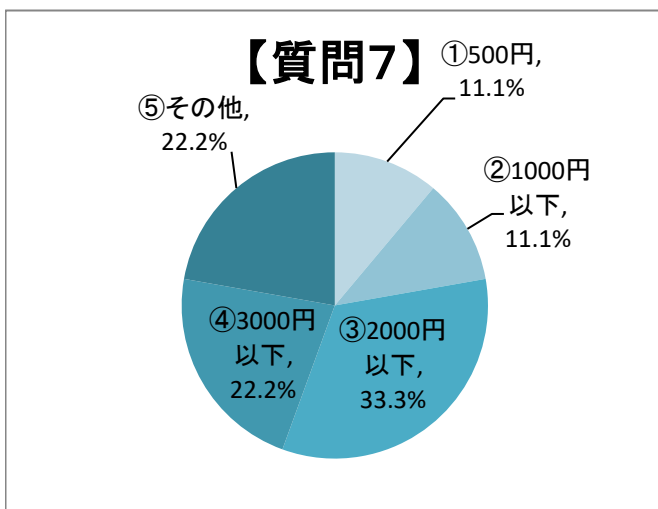
【質問6】質問4で④、⑤を選択した理由はなんですか。

①活動場所まで移動すること	②クラブの活動費用の負担	③クラブの活動運営への協力	④大会が学校部活動と異なる	⑤学校外の間関係が発生すること	⑥その他	計
1	1	1	1	1	0	5
20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	80%



【質問7】費用の負担について、月々どのくらいが適当だと思われますか

①500円	②1000円以下	③2000円以下	④3000円以下	⑤その他	計
1	1	3	2	2	9
11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	100.0%



アンケート原文

今回のアンケートの質問1～6については、これまでのバド部の活動から地域スポーツクラブに変わっても何らメリットデメリットが変わらないと思います。正式な部活として活動拠点や部室を中学校内にもらっていた部に対してこの質問なら理解できますが、バド部に対してこの質問は意味がないと思うと同時に、すでに外部の方が指導しているバド・テニス部ならスムーズに移行できるからこそのお話なのだと感じました。

個人的には正式な部でありながら、指導する先生(教師)が不在の部活こそ地域スポーツクラブに移行する意義があると思います。いずれにしても、子供たちの活動がしやすいような体制にしたいと思っていますのでよろしくをお願いします。

現在、子供が地域の部活動に入っています。賛成に丸をつけていますが、入部するまでは、保護者の送迎がいることや大会が学校部活動と異なることなど不満がありました。

・ 学校から体育館までが遠いのでバスの運行をしてほしい。
・ 事業の詳細が保護者に伝わっていないので、説明会を開いてほしい。
・ 練習・大会への送迎の負担が大きい。今後、テニス・バドミントン以外に活動がひろがっていった時に、保護者の送迎が必要になってくると、保護者が協力できない子供はやりたくてもできない状況ができてくるのではないかと考えます。

地域部活動になれば 学校はクラブ活動にいっさい関わらないのでしょうか。

地域に移行することで、学校側は今後はその部の活動に、ノータッチになるのでしょうか？今までも(地域)クラブでのスポーツ活動には、保護者の協力なしにはやっていけない部分が多いように思いますが(送迎や運営への協力等)それが負担で、学校へのクラブ活動に参加していた家庭もあると思いますが、保護者の協力が難しい家庭では、子供が今以上にやりたいスポーツ等ができなくなることもあるのではないかと考えます。

他の市町村の動向も分かりませんが、学校部活動ではなく活動するにあたって学校部活動との差が(メリットデメリット)保護者や生徒に分かるように説明責任を果たして、他の部活動を検討した方がいいと思います。

質問ですが、現在、市民体育館使用料の減免は、団体戦に参加できることが要件になっていますが、この事業となった場合、団体戦に参加できる人数がいなくても免除してもらえるのでしょうか？

指導者が何等かの都合で、指導することが困難となった時、その運動部活動はどうなるのでしょうか？(学校の部活動であれば、他の先生が対応する等できると思いますが…)

子供が成長期に部活動に取り組むことは体力的・精神的・コミュニケーション能力を付ける為にも必要なことではないかと思えます。今、運動部は大会に行くとき、基本保護者の送迎が必要です。それでは送迎できない家庭の子供は運動部で活動したくてもさせてあげられないこともあるのではないのでしょうか。地域移行になるのなら、公式の大会だけでも送迎用のバスを出してほしいと思います。土日祝が休みでない家庭もあると思います。連れて行けないので試合に出られないということにもなりますし、他の保護者に頼んで、もし事故などあった場合の責任などもあります。

先生達の働き方改革だけでなく、一人でも多くの子供達がのびのび部活動に取り組むことができ、指導者、保護者の負担も少なくてすむ、全てが「WinWin」になるように考えていただきたいです。

指導してくださる人がいる部活動は移行できますが、いない場合、もしくは今はいても今後いなくなった場合などはどうなるのでしょうか？

中学校の部活動において、専門的な指導者がいるのは重要で特に初心者にとってはスポーツの指導以外にも道具の選び方なども相談できる人がいると安心です。

同じ3年間部活動を頑張るなら、子どもとしても上手になりたいし、試合では勝ちたいものです。専門的な指導者がいれば、その成長度合いも結果も違ってくると思います。指導者を探すのが大変かもしれませんが、他の部活動でも取り組んでいければいいなと思います。

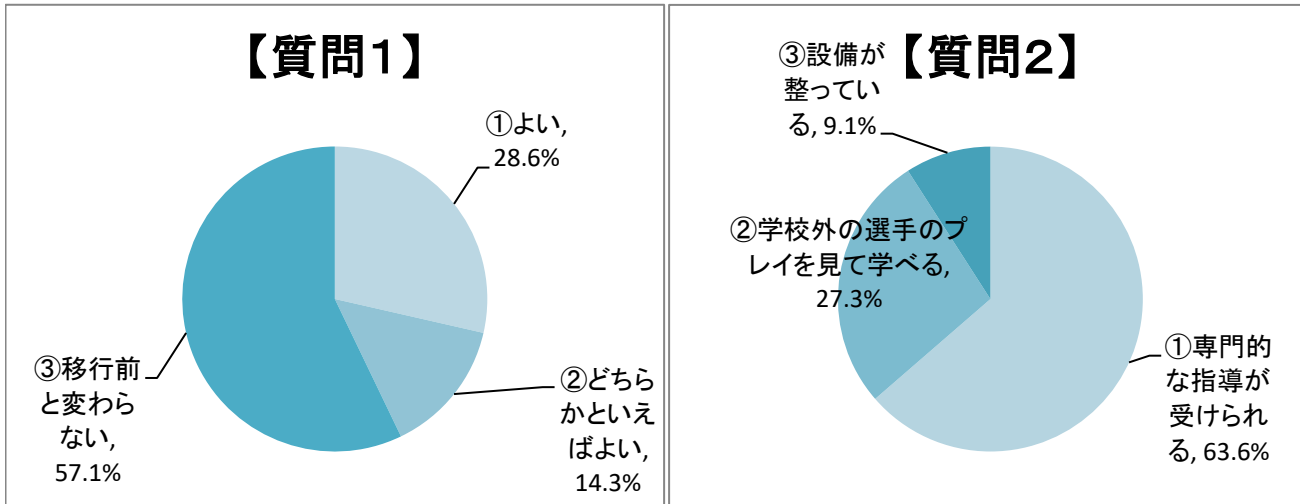
第2回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【生徒用1／2】

【質問1】部活動が地域移行して、総合的にどう感じていますか。

①よい	②どちらかといえばよい	③移行前と変わらない	④どちらかといえばよくない	⑤よくない	計
2	1	4	0	0	7
28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%

【質問2】部活動が地域移行して、よかったと思うところはなんですか(複数回答可)

①専門的な指導が受けられる	②学校外の選手のプレイを見て学べる	③設備が整っている	④その他	計
7	3	1	0	11
63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	100.0%

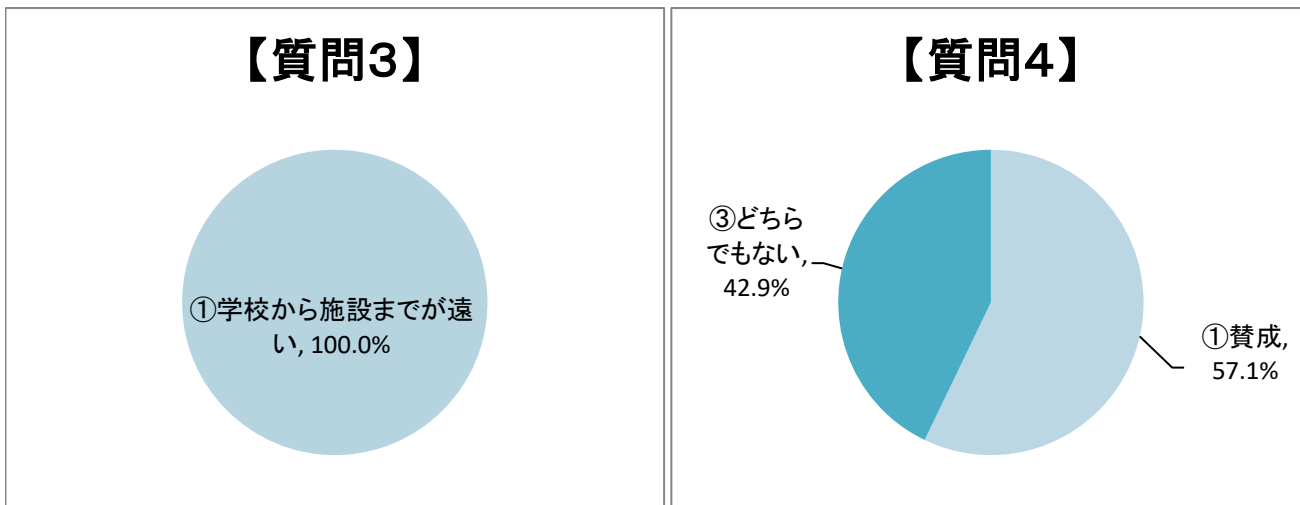


【質問3】部活動が地域移行して、よくないと思うところはなんですか(複数回答可)

①学校から施設までが遠い	②指導についていけなくなった	③大会が学校部活動と異なること	④その他	計
7	0	0	0	7
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【質問4】学校部活動を地域のクラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教員など)が担うことについてどう思いますか。

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
4	0	3	0	0	7
57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	100%



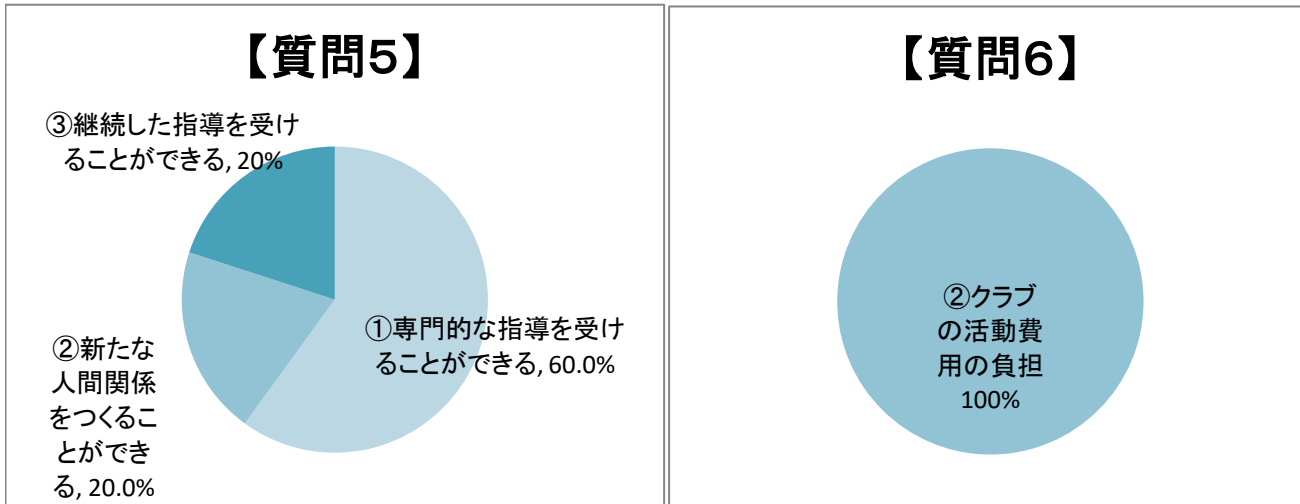
第2回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【生徒用2/2】

【質問5】質問4で①、②を選択した理由はなんですか。

①専門的な指導を受けることができる	②新たな人間関係をつくることができる	③継続した指導を受けることができる	④その他	計
3	1	1	0	5
60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100%

【質問6】質問4で④、⑤を選択した理由はなんですか。

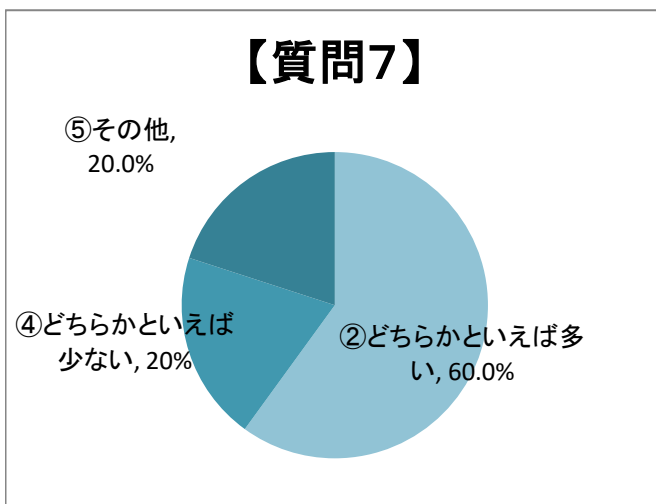
①活動場所まで移動すること	②クラブの活動費用の負担	③クラブの活動運営への協力	④大会が学校部活動と異なる	⑤学校外の間関係が発生すること	⑥その他	計
0	1	0	0	0	0	1
0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%



【質問7】部活動が地域移行して、活動の頻度(練習の回数)はどうですか。

(平日4日、休日1日の活動で平日2時間・休日3時間の練習時間を基本とします。)

①多い	②どちらかといえば多い	③少ない	④どちらかといえば少ない	⑤その他	計
0	3	0	1	1	5
0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%



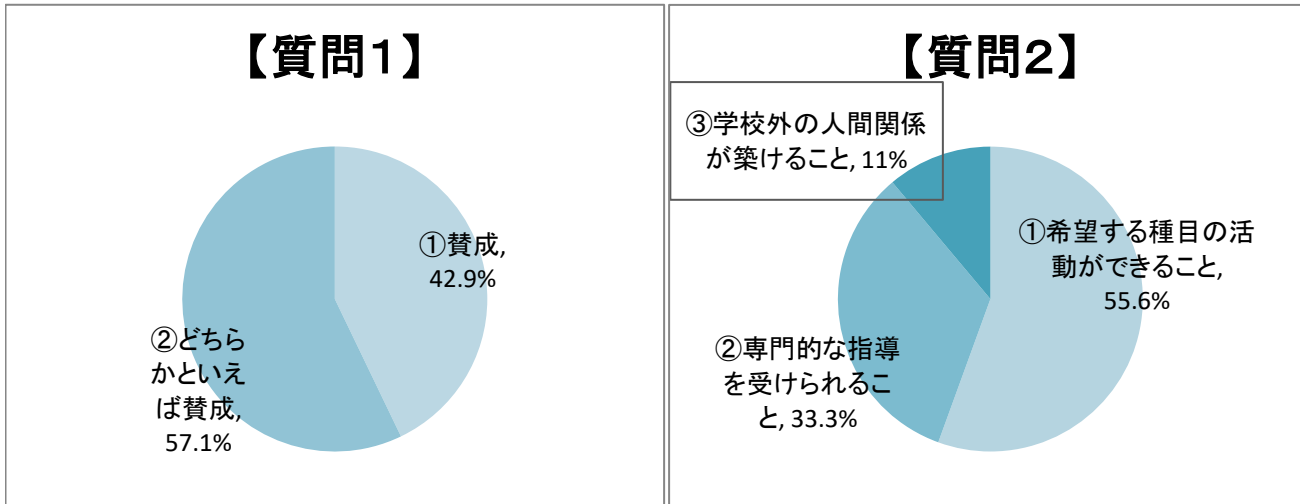
第2回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【保護者用1/2】

【質問1】生徒が地域のクラブに所属していることを、どう思いますか。

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
3	4	0	0	0	7
42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【質問2】質問1で①、②を選択した理由は何ですか。

①希望する種目の活動ができること	②専門的な指導を受けられること	③学校外の人間関係が築けること	④自然反に合ったクラブを選択できること	⑤その他	計
5	3	1	0	0	9
55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%

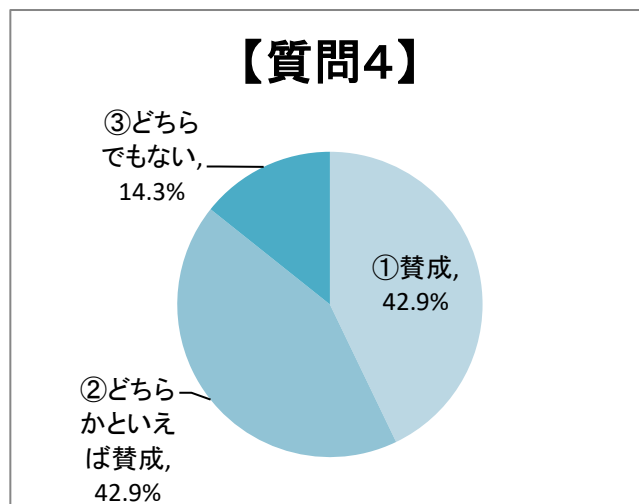


【質問3】質問1で④、⑤を選択した理由は何ですか

①活動場所まで自分で移動すること	②保護者の送迎が必要であること	③クラブの活動費用の負担	④クラブの活動運営への協力	⑤大会が学校部活動と異なること	⑥その他	計
0	0	0	0	0	0	0
0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

【質問4】学校部活動を地域のクラブ(地域の指導者や指導を希望する中学教職員など)が担うことについてどう思いますか。

①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらでもない	④どちらかといえば反対	⑤反対	計
3	3	1	0	0	7
42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100%



第2回目 土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【保護者用2/2】

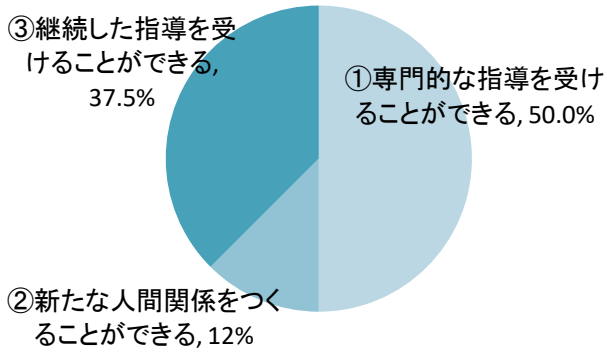
【質問5】質問4で①、②を選択した理由はなんですか。

①専門的な指導を受けることができる	②新たな人間関係をつくることができる	③継続した指導を受けることができる	④その他	計
4	1	3	0	8
50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	100%

【質問6】質問4で④、⑤を選択した理由はなんですか。

①活動場所まで移動すること	②クラブの活動費用の負担	③クラブの活動運営への協力	④大会が学校部活動と異なる	⑤学校外の間関係が発生すること	⑥その他	計
0	0	0	0	0	0	0
0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

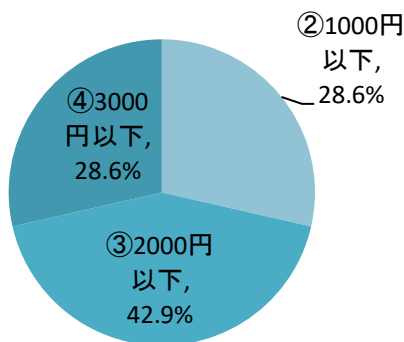
【質問5】



【質問7】費用の負担について、月々どのくらいが適当だと思われますか。

①500円	②1000円以下	③2000円以下	④3000円以下	⑤その他	計
0	2	3	2	0	7
0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	100.0%

【質問7】



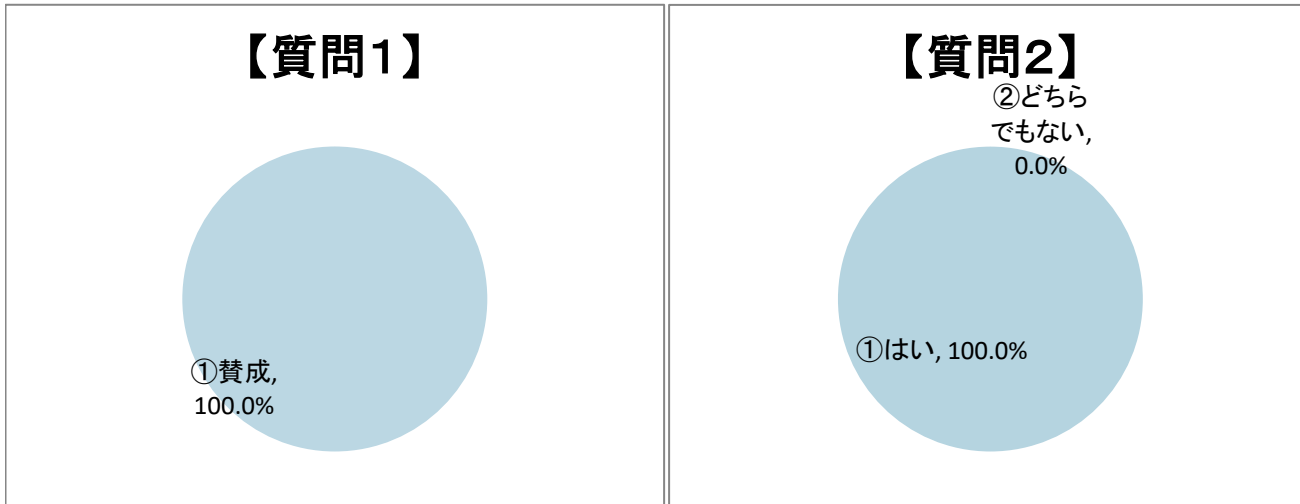
土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【担当教諭用1／2】

【質問1】運動部活動の地域クラブへの移行について、どう思いますか。

①賛成	②どちらでもない	③反対	計
3	0	0	3
100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【質問2】部活動の指導に負担を感じていますか。

①はい	②どちらでもない	③いいえ	計
3	0	0	3
100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

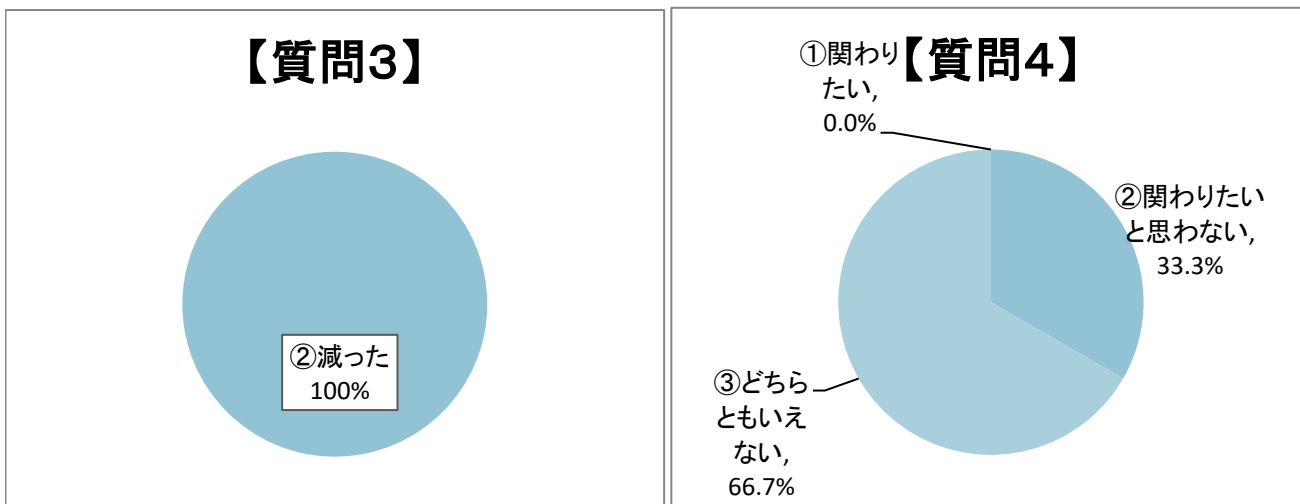


【質問3】地域移行によって、部活指導における負担の変化はありましたか。

①増えた	②減った	③変わらない	計
0	3	0	3
0%	100%	0%	100%

【質問4】今後、地域移行しても部活動に関わりたいと思いますか。

①関わりたい	②関わりたいと思わない	③どちらともいえない	計
0	1	2	3
0.0%	33.3%	66.7%	100%

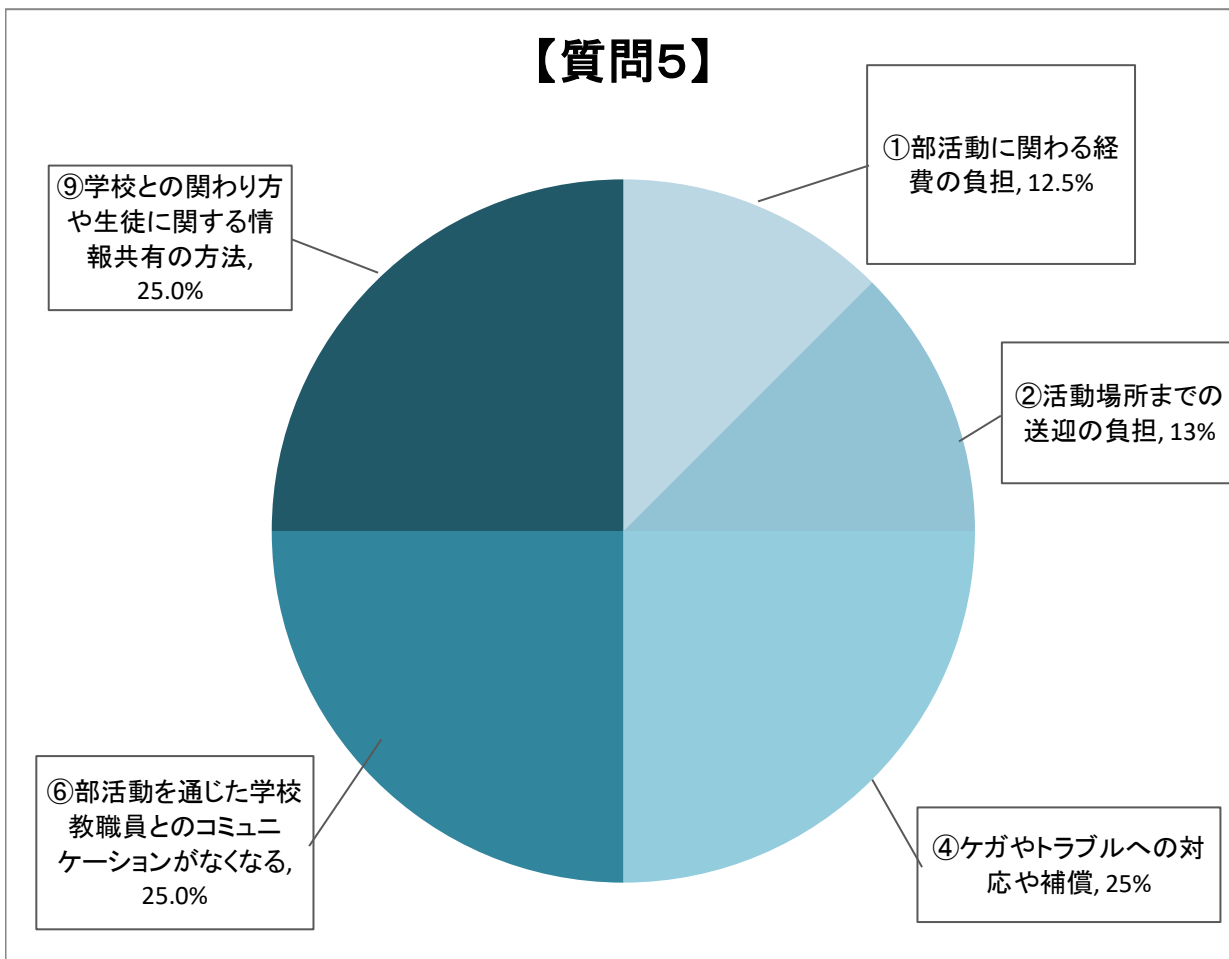


土佐清水市地域運動部活動に関するアンケート調査【担当教諭用2/2】

【質問5】今後、地域移行するなかで課題と思うことはありますか(複数選択可)

①部活動に関わる経費の負担	②活動場所までの送迎の負担	③指導者や一般会員等との人間関係	④ケガやトラブルへの対応や補償	⑤指導者の人材不足により希望する種目の活動ができないこと	⑥部活動を通じた学校教職員とのコミュニケーションがなくなる	⑦活動時間(練習時間が長い、夜間の活動など)
1	1	0	2	0	2	0
12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

⑧指導方法(体罰や勝利主義など)	⑨学校との関わり方や生徒に関する情報共有の方法	⑩部活動における人間づくり(教育)	⑪その他	計
0	2	0	0	8
0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50%



アンケートにあったご意見（原文）

【生徒】

- 「質問3」に関して（大会の送迎が、バスが出ないため、親の予定と合わなかったら行くことができない）
学校の体育館を使わせてほしい。
大会の送迎をバスもありにしてほしい。

【保護者】

- 地域に部活動を移行すること
今までの部活動はほとんどが学校内で行われていたと思います。地域に移行することは、学校外での活動もあるということになる。今までは、学校内ということもあり、気軽に選べた部活動も、学校外になると、送り迎えなど保護者の負担を考えて子供達が部活動を選択することの妨げになってはいけないと思います。

部活動をする上で送迎バスを臨機応変に活用できるよう検討していただけると助かります。普段でも大変なのに夏休みなど長期な休みに入ると、送迎はますます難しくなってきました。

夕方最終の送迎バスの出発を市民体育館からにすることも検討してください。

毎日とは言いません。部活動がある曜日だけでいいと思います。

今は中学校から最終の送迎バスが出ているので、練習を早めに切り上げ、学校まで歩いて帰ってバスに乗っています。夏場ならまだ明るいですが、日が短くなると、学校までの道に街灯はなく真っ暗です。事故が起こってからでは遅いです。

バスの活用、早めの検討をお願いいたします。

大会の申し込みなど、スクラムなどで一括して管理できる場所を用意してほしいです。申し込みなどはインターネットと、当日持参する紙媒体と2つあります。パソコンがありデータを送れる環境にある、コピーが取れる…など、家庭では厳しいこともあります。

検討をお願いいたします。

- 保護者としては、学校の部活動の時間に、中学校の体育館に外部コーチに来てもらい指導してもらい、学校のバスで行き帰りできるのが一番の理想です。

今の状況は子供にとって、放課後、学校から体育館までの移動が大変であること（雨の日など）、夜の練習には保護者の送迎が必要であり、負担が大きい。現在は子供1人が外部の部活でやっているのが可能ですが、来年度以降、他の子供が外部委託になると、上記のような送迎の回数が多くなると思われるので、送迎のバス等については検討して頂きたいと思います。

- 「質問3」に関して（生徒が地域クラブに所属していることに反対ではないが、学校と活動場所の移動、保護者の送迎、クラブ活動への協力については学校部活動ではない負担を感じる部分である）

「質問6」に関して（学校部活動を地域クラブが担うことに反対ではないが、スクールバスの利用等しやすいようにもう少し融通をきかして欲しい）

学校外での活動のため、移動が必要であったり、指導者の仕事の都合等もあり、学校の部活動と全く同じようにしてもらうことは難しいと分かっているが、学校の体育館の使用やスクールバス（平日、休日、長期休暇）の利用等、地域で活動していけるための支援を学校側にも考えていただきたいです。

- 部活動する体育館までバス等の送迎をしてほしい。冬場は特にくらいし、子どもが心配です。地域移行によって部活動がどのように変わるのか等きまった事を書類等で見んが分かるようにしてほしい。
- 今ではどちらかといえば賛成ですが、それまでは活動までの移動や、保護者の送迎などで悩みました。送迎があると、とても助かります。

- **【担当教諭】**

- 意見なし

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	土佐清水市教育委員会 担当課：生涯学習課 電話番号：0880-82-1257
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	197人	③ 部活動数	12部活
--------	----	-------	------	--------	------

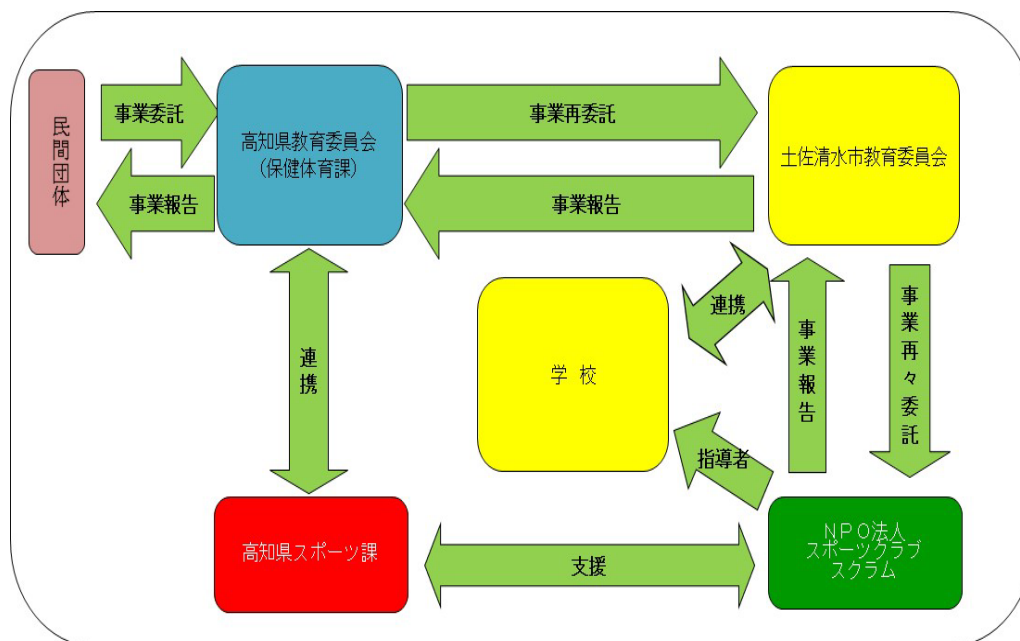
1.2 地域における現状・課題

- ・少子化によって生徒数が年々減少の傾向にあり、中学校部活動の維持・存続・継続が困難。
- ・教員が当該競技の指導力を十分有しないまま指導に当たらなくてはいけない場合がある。
- ・教員異動による指導教員の交代により指導内容に変更が生じ、生徒に戸惑いを感じさせたり、生徒の技能レベルアップを停滞させる。
- ・教員が部活動を指導することにより拘束時間が長引き、心身が疲労し、その結果、教育の質が低下する可能性がある。

1.3 実践研究における取組目標

- ・バドミントン、硬式テニスの2部活動を地域の運動部活動へ移行する。
- ・最終的には清水中学校全ての運動部活動を地域移行する。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・協議検討会の開催（全3回）
- ・学校から活動施設までの行き来時間に時間を要し、街灯もなく、時間・安全両面で支障が生じている。
- ・学校体育施設の使用が、セキュリティ上の制約によって現状難しいが、将来的に使用可能なものになりたい。
- ・施設へスクールバス運用の検討。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	土佐清水市内1校 清水中学校
② 実践研究に取り組んだ部活動数	2部活
③ 種目	硬式テニス、バドミントン

《主な取組例（１）》…土佐清水市立清水中学校

① 運営主体	NPO 法人スポーツクラブスクラム		
② 種目	バドミントン	④ 参加者数	7人
④ 活動日	平日の内4日 土日の内1日	⑤ 活動場所	土佐清水市民体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	NPO 法人スポーツクラブスクラムに所属するバドミントン指導者3名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:2,000円/年額)		

《主な取組例（２）》…土佐清水市立清水中学校

① 運営主体	NPO 法人スポーツクラブスクラム		
② 種目	硬式テニス	④ 参加者数	5人
④ 活動日	平日の内4日 土日の内1日	⑤ 活動場所	土佐清水市民体育館
⑦ 指導者人数	1人	⑧ 謝金単価	1人あたり1,000円/時間
⑨ 指導者属性	NPO 法人スポーツクラブスクラムに所属する硬式テニス指導者2名を指導者として派遣		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり (1人あたり:2,000円/年額)		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・ 地域部活動に加入している生徒及びその保護者に対し全2回、教師に対し全1回のアンケートを実施した。
- ・ 主な意見として送迎、移動に関する負担についてのものが多く挙げられた。
- ・ アンケート集計結果については別添資料参照のこと。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ 保険料について学校部活動と地域部活動との間で不均等が生じないように調整した。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ 担当教諭向けアンケートにおいて「部活動の指導に負担を感じている」「地域移行によって、部活指導における負担は減った」との回答があり、地域移行によって担当教諭への負担は軽減されたと捉えられる。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校では地域部活動担当教員を選任する。 ・ 定期的に検討運営会議を開催する。 	<p>【受け皿団体の確保方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け皿のスポーツクラブへ補助金を活用した支援
<p>【指導者の確保方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金額の再検討。 ・ スポーツ指導者講習会受講者の募集。 	<p>【困窮世帯への支援方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎バスの運用。 ・ 費用減免措置の検討。
<p>【地域移行の自走化に向けた方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算源の確保としてふるさと納税の活用の検討 	<p>【地域特有の課題への対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け皿のスポーツクラブにとって運動部活動地域移行の用務は負担となっており、今後移行部活動が増える中、継続安定的に運用できる運営不法の検討